

正願寺通信

●正願寺報恩講「案内」
●令和七年 年忌法要お知らせ
●クイズで考える真宗基礎講座「案内」

この『正願寺通信』は、ご縁のあるごなたにもお配りします。ご希望の方は、ご連絡ください。



発行者:真宗大谷派 正願寺 住職 三保谷 順
〒442-0862 豊川市市田町北之坪1-1
Tel 0533-86-3659 FAX 86-3668
Mail mipomail@cream.plala.or.jp

疑謗為縁

疑謗を縁と為す

ほんまに、ほんまに、
死にとつない

今回は、仙厓和尚という高僧の言葉です。軽妙な禅画で有名な方でもあります。

その仙厓和尚が亡くなる間際に、檀信徒や弟子たちから辞世の言葉を求められたのでした。すると仙厓和尚は「死にとつない」という一言を發します。名僧の最期の言葉がこれでは困ると思った弟子たちが、もう一度辞世の言葉を求めますと、やはり「死にとつない」という言葉が返ってきます。あわてた弟子たちが、

「いえ、ご冗談ではなく、どうか本当のお言葉を……と、さらにしつこく念を押すと、仙厓和尚は、繰り返し「ほんまに、ほんまに、死にとつない」と言ったという逸話が残されております。

仏教は、「煩惱を離れる」からスタートしました。お釈迦様は、そのように説かれました。その教えを後のお弟子方は、「煩惱がそのまま悟りである」と受け止めるようになります。親鸞聖人は『正信偈』に、信心を得た人は「煩惱の林に遊びて」と語ります。煩惱を離れるのではなく、煩惱に自在になる・振り回されない。仙厓和尚や親鸞聖人が行き着いた境地です。

真宗入門

御命日のつどい「案内」

12月のテーマ

【お経の練習】

新年1月には、正願寺の年間行事の中でもっとも大切な報恩講が勤まります。2日間4座のお勤めですが、その最後は、「如来大悲の恩徳は身を粉にしても報ずべしししゆちしき師主知識の恩徳もほねをくだきても謝すべし」という和讃でお勤めが締めくくられます。この言葉を味わいながら、お勤めの練習をします。『浄土真宗学習ノート(仮称)』をお持ちの方はご持参ください。まだの方にはこのノートをプレゼントします。どなたでも気軽にお参りできる「つどい」です。本堂に入る時アルコールで手を消毒し、マスクの着用もお願いします。日時は28日午前10時30分から11時40分までです。



行事のご案内

12月の行事

本堂仏具のおみがきと境内の大掃除

年末定例の行事となります。本年最後の仏具のお磨きと、いつもより少し丁寧な掃除を行います。汚れてもいい服装でお越しください。また、室内ではマスクの着用をお願いします。

日時は左記のとおりです。いつもより1時間遅い、10時から始めます。終了後、簡単な会食を予定しています。お待ち帰りもできるようなものを考えています。是非お手伝いをお願いいたします。
日時 12月16日(月)
午前10時から



新年1月の行事

本堂仏具のおみがき

報恩講のための本堂御仏具のおみがきをします。是非お手伝いください。1月は寒いので10時始まりです。
日時 1月14日(火)
午前10時から1時間ほど

その後、お茶とお菓子の雑談会です。わいわいがやがや、楽しみましょう。

正願寺報恩講厳修

正願寺報恩講をお勤めいたします。

報恩講とは、一年に一度お勤めする親鸞聖人のご恩に感謝する御命日法要で、浄土真宗のお寺での一年の行事の中で最も重要な法要です。

親鸞聖人がお書きになった多くの書物を読みますと、誠実などというお人柄が伝わってきます。しかしその誠実であ



るが故に、親鸞聖人は比叡山で20年間修行しても、お悟りに近づくとができなかつたのでしよう。誠実さは大切な事ですが、その裏側に誠実になれるという自負心が潜んでいます。その自負心は慢心と紙一重なのです。

お悟りをひらくことができず、誠実という自負心が崩れる中、法然上人に出遭われます。法然上人は、その自負心の崩壊を尊いことと語り親鸞聖人をお迎えしたのでしよう。私たちがこの自負心が崩れる出合いを求めて、報恩講を一緒にお勤めしたいと思えます。

さて、正願寺の報恩講のご案内です。1日目の午前の法要は、11時からの勤めの後、住職より親鸞聖人のご生涯の解説です。蓮如上人が書き残されました『御俗姓』という御文を解説します。親鸞聖人のご生涯が短くまとめられています。ご生涯全般のお話をします。

正午から午後1時まで御齋です。午後1時から御速夜法

要です。ご講師をお招きしての御法話がございます。

御齋とは、ご法要の時の食事を指します。『仏事』としていただくものです。

2日目の午前は、『御伝鈔』拝読のお勤めをいたします。

『御伝鈔』とは、親鸞聖人のひ孫の覚如様がお作りになった親鸞聖人の一代記です。その絵の部分だけが掛け軸となり、報恩講の時だけ本堂の左側に掛けられます。そのお亡くなりになられる場面を中心に住職よりお話しさせていただきました。

正午から午後1時までの御齋の後、午後1時から御満座法要です。ご講師をお招きし

1月24日(金)

午前11時 『御俗姓』法要

法話 自坊住職

正午から お齋(お食事)

午後1時 御速夜法要

法話 榑野明仁師

1月25日(土) 午前11時

『御伝鈔』法要

法話 自坊住職

正午から お齋(お食事)

午後1時 御満座法要

法話 榑部 明師

ての御法話がございます。

正願寺にご縁のある方は、必ずお参りいただきますよう御案内申し上げます。

会館に入ったところに受付があり、そこで「お志」をお納めください。墓地管理冥加金も収めることができます。

その他のご案内

令和七年 年忌法要お知らせ

来年の各ご家庭で勤めるお年忌に当たる方は、左記の通りです。宗派やお寺により年数の選び方が違うこともあります。

また、年が変わりますと、正願寺本堂左側の廊下に、法要にあたる方のお名前を張り

年忌 命終年(西暦)

- 一周忌 令和6年(2024)年
- 二回忌 令和5(2023)年
- 七回忌 平成31令和元(2019)年
- 十二回忌 平成25(2013)年
- 十七回忌 平成21(2009)年
- 二十二回忌 平成15(2003)年
- 二十七回忌 平成11(1999)年
- 三十二回忌 平成5(1993)年
- 五十四回忌 昭和51(1976)年

出します。どうぞご確認ください。詳しくはお寺まで。

『クイズで考える』

真宗基礎講座

岡崎教区第四組(豊橋市・豊川市・新城市)にある17カ寺のグループでは、『クイズで考える真宗基礎講座』を企画しました。第四組の若いお寺さんたちが、がんばって取り組んでいます。

来年の2月から6月の月末、土曜日の夕刻の5回の講座です。クイズ番組のようなことを考えています。初めて浄土真宗に触れる方から教えを聞き始めて欲しい方まで、楽しく学べる講座を目指しています。お寺にチラシがあります。どうぞお気軽にお申し込みください。

クイズで考える 真宗基礎講座
あなたの「？」が見つかるかも

あとがき

今の時季、住職の事務室は、年末に配布するカレンダーや冊子「真宗の生活」や「同朋新聞」、「正願寺通信」、そして来年の行事案内で、段ボール箱が山積み。しかしこれらの配布物がみなさんの元に届いた頃には、スッキリ。と同時に新年行事の準備が始まります。いつになったら暇ができるのでしょうか。



日中、家事をしたり、雑用をこなすにはまだまだ半袖じゃないと汗が。(体格のせいか)と思っていたら、一気に気温急降下。暖かい秋でききよ風の桜も咲いたとか。庭では夏に咲かなかったアガパンサスの葉が今頃出たので、秋植え球根の植え付けは「まだ先でよいね」と思っていました。もうこれで冬突入の様子。チョット予定変更で植え付けの予定をしないとね。春のお楽しみ。



正願寺ホームページのQRコードです。

